６１期　平成３０年１１月号発行（藤野山岳会昭和３２年４月発足１ヶ月１度発行）

ふじの山岳会ニュース

2018年12月号

発行日　平成30年12月12日
発行者　藤野山岳会編集委員会
杉本憲昭　687-2418

◆12月定例会報告◆

藤野山岳会の例会は忘年会と合同で開催　出席者は13名

（　荒井・和泉夫妻・遠藤勝・岸・小池夫妻・小林・杉本・春田・真屋・山﨑昌・横山　）

12月12日(水)18：00～21：00山咲に於いて開催されました。

なお、次年度の藤野山岳会忘年会はやまなみ温泉にて開催予定です。

＊1月の例会はお休みです。次回は2月14日（木）19：00～20：30於：藤野開発事務所

△▲藤野山岳会これからの山行等予定▲△

1月17日（木）　高尾～草戸山～高尾（周遊）
2月　2日（土）　不老山（上野原市）
3月14日（木）　御坂黒岳（河口湖）
＊埼玉県　武甲山の山行は「芝桜の咲く」４月または５月に行います。
以上の山行等に参加希望の方は「小池」までご連絡ください！

◎小池栄一郎会長提案―発足する

藤野山岳会組織体制について、年齢等やむをえず退会者は年会費０円会友制度として発足することとなりました。

◆事　業　計　画◆　＊＊各事業に多くの参加をお願いします＊＊

●2018年度丹沢大山自然再生活動報告会１２／１５(土) 藤沢日本大学にて実施予定

神奈川県自然環境保全センター主催による活動報告会にて、県央地区の公衆トイレについて発表をします。出席者：和泉悟（山岳会員）田村明雄（北丹沢山岳センター会員）

●山梨県山岳連盟結成７０周年記念式典１２／１５(土)甲府古名屋ホテルにて開催

山梨県山岳連盟はこのたび記念すべき７０周年を迎えました。記念式典には神奈川県山岳連盟の副会長杉本憲昭氏と東斐山岳会会長の井上力氏が参加いたします。

●八王子教育委員会主催　八峰マウンテントレイルレース１２／２４（祝）予定通り開催

今年で第４回目を迎える八峰トレイル大会は１，０００名を越える大会として着実に実績を重ねています。大会にはNPO北丹沢山岳センターを中心に、藤野山岳会（協会）、上野原トレイルサポートクラブの皆様など20名のスタッフが例年協力をしております。

藤野山岳会会員の皆様、各事業に昨年同様今年もサポートどうぞよろしくお願い致します。

12月11日（水）蛭ヶ岳に初雪

蛭ヶ岳山頂に今年初めての積雪が観測されました。（夜半　雪・早朝　雨）
次の日の午前中には雨により雪は融け、積雪量は0㎝でした。

北丹沢山岳センター

200kmのトレランを計画

3年後の開催を目指す

NPO法人北丹沢山岳センター（以下北丹沢センター、杉本憲昭理事長）が、神奈川、東京、山梨を横断する200㎞超のトレイルランニングレース（以下トレラン）を、3年後を目途に計画していることがわかった。杉本理事長によると、構想では大会は3日前後に及び、走行距離は国内のレースで2番目に長くなる見通し。「日本を代表するトレラン大会の一つにしていければ」と杉本理事長は話す。

自然に触れながら山野を駆け抜けるトレランは、「山岳レース」とも呼ばれ、マラソンと登山の要素を併せ持ち、欧米で特に人気が高いレースだ。

環境保護、災害救援など、北丹沢地域の振興に寄与する目的で2003年に設立された北丹沢センターは、地域振興の一環として、これまでに数多くのトレランを開催。現在は、北丹沢12時間山岳耐久レース（44・24㎞）、東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース（32・1㎞）、陣馬山トレイルレース（23・54㎞）などを実施している。

今年4月に行われた東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース

そうした中、「トレランは距離が長くなるほど人気が高くなる傾向がある。これまで行ってきた規模を凌駕する距離のレースを行えば、より地域が盛り上がるのでは」と、今回のレースの計画に至った。

想定するコースは、宮ヶ瀬湖を発着点とした場合、生藤山（神奈川・東京）、御岳山（東京・三頭山（東京・山梨）、御正体山（山梨）、山伏峠（同）、大室山（山梨・神奈川）、檜洞丸（神奈川）、蛭ヶ岳（同）を周回するコース。走行距離は200㎞超になる。杉本理事長は「想定コースには、特別保護地域なども含まれているので、北丹沢山岳耐久レースのような1000人規模の大会ではなく、トップ選手を対象にした100人以下の規模の大会になる。発着点も宮ヶ瀬だけでなく、青根や陣馬山も検討していきたい」と話す。構想が実現すれば、日本で一番長いトランスジャパンアルプスレース（富山～静岡、約415㎞）に次ぐ長さになる。コース決定は、行政との調整や各団体との話し合いを経て、3年後の開催を目途に進めていきたい意向。開催時期は8月から9月に、3日前後の大会となる見込みだ。

バーティカル競技来秋に計画

このほか、北丹沢センターでは、道志村にある大室山で標高差1千mをほぼ直線で駆け上るバーティカル（垂直）競技も計画する。このバーティカル競技は、ヨーロッパ、特にフランスで人気が高く、2024年のパリ五輪でも開催を望む声がある。杉本理事長は「世界的な流れは、競技性の高いバーティカルが主力となっていっている」と説明。北丹沢センターでは、この波に乗り遅れまいと昨年夏、妙高赤倉で初めてバーティカルレースを開催した。「近辺の山を色々調べたが、近隣では大室山が最もバーティカルに適している。大室山は青根地域も含まれており、開催されれば多くの人出が見込まれる」と会場となる地域の振興にも期待を寄せている。